

ま え が き

変化の激しい社会の中では、主体的に学んで必要な情報を活用し、よりよい人生や社会の在り方を考え、多様な人々と協働しながら問題を発見し解決していくための力が必要になります。このような力を児童一人一人に育むためには、あらゆる教科等に共通した学習の基盤となる資質・能力や、教科等の学習を通じて身に付けた力を活用して、現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を、教育課程全体を見渡して育てていくことが重要です。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編 では、児童の日々の学習や生涯にわたる学びの基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の資質・能力を、児童の発達の段階を考慮し、それぞれの教科等の役割を明確にしながら、教科等横断的な視点で育てていくことができるよう、教育課程の編成を図ることとしています。

皆様も御存知のとおり、本県の学力向上施策である「ちばっ子『学力向上』総合プラン」ダブル・アクション+ONEのCheck機能として位置付けられているものとして「ちばっ子学びの未来デザインシート事業」があります。

この「デザインシート」は、各教科で学んだことが実生活で役立つものとなっているか、教科等横断的な問題により、問題発見や課題解決の能力等を測るものです。

本年度は、児童生徒が1人1台端末を活用して解答する、いわゆるCBT形式での予備調査を15万人規模で実施しており、令和5年度から千葉市を除く県内すべての公立小中学校での実施に向け、取り組んでいます。

そこで、教科等横断的な学習について好事例を挙げて、問題発見や課題解決の能力等の育成を図っていくための授業改善に繋げていきたいと考えました。

なお実践例は、あくまでも参考事例の位置付けであり、当然のことながら各学校においては、児童や地域の実態を踏まえた、創意工夫ある授業実践が望まれます。

こうした意味で、この指導実践集が各学校における研修活動や日々の教育実践の参考として活用されれば幸いです。

最後に、本指導実践集の作成に当たり、御尽力いただきました教育課程推進会議会長、副会長、推進委員、研究協力校協力委員の皆様方に対し、心から感謝の意を表します。

令和5年3月

千葉県教育庁教育振興部学習指導課長

石川 康 浩